

で、徳崎社長も19年春に補材を行った

は、地元の実業家らと「知ってもらわなければ合わせて経営する同

# 高難度物件も技術力でクリア 前向きな姿勢は不変

## スカイ（静岡）

スカイ（静岡県磐田市、金澤和孝社長）は、2エリア6工場に

東海地区の製材、問屋、工務店の共同出資により1990年5月

同社は関東甲信越と

現在では天竜川沿いの豊岡エリアで本社工場と豊岡太郎馬工場

可能にした。両機は非

生産効率の高いラインを集約し、一般住宅から大型木造建築物まで広範な需要に対応している。設備投資を随時実施して生産効率を高め、労働環境の改善に努めているのが特徴で、近年も2台目のC/LT対応6軸NC加工機や、横架材加工ラインの更新と大断面加工機2台の新導入など、進化を続けている。以前からの「難易度の高い物件でも基本的に断らない」という姿勢は変わらず、4代目となる金澤社長の時代を迎えても同社のDNAとして継承されている。

同社は関東甲信越と東海地区の製材、問屋、工務店の共同出資により1990年5月に設立した。プレカット工場は翌年8月に天竜市（現・浜松市天竜区）に開設し、その後プレカット業界の発展を体現するように年々業容を拡大してきた。現在は天竜川沿いの豊岡エリアで本社工場と豊岡太郎馬工場



進化を続けるスカイのプレカット工場

を、船明エリ住宅物件への対応で活躍しており、同社が常場、合板工に挑戦している難易度場、柱工場、の高い物件もこなす要金物工法専用（かなめ）のマシンのMF工場をして位置付けられてい運営しておる。金澤社長は、企業と機といった付しての前向きな姿勢は帯設備も豊富今後変わらないとに取りそろえし、「スカイというブランドの認知・拡大を注目のCL目指したい」と話す。Tや大断面材設計事務所等へ木造の等には、ユニ可能性と自社の機能をアピールし、多様なプランを形にできることを示していく。また、生産面の新事業では、木軸パネルの製造を開始する予定で、19年度中には工務店と連携してパネル採用物件の建て方まで実施する方針だ。